

おばらふくし ビレッジだより

~幸福(しあわせ)届ける~
発行／おばらふくしビレッジだより編集委員会
〒470-0564 愛知県豊田市沢田町座内22番地



いつも力強く、一生懸命叩いているよ！



ふくふく！！
シャボン玉って、
おもしろ～い♪



そ～っと！大きくなあれ！



笛を演奏中！！いっぱい
練習して、早くいろいろな曲が
吹けるようになりたいな♪

わーい！おまつりだ！

十月十七日、ふくしの里でふれあいまつりが行われました。メイン会場のふくしの里では、おいしい模擬店が並び、地域のお客さんもたくさん来ていました。小原学園の利用者さんは、日頃練習している太鼓を披露し

知的障害児施設 小原学園

ました。かつこいい法被を着て、力いっぱい叩いてきました。

今年も小原福祉ビレッジがサテライト会場となり、小原学園の利用者さんも一緒にシャボン玉を行いました。親子連れでお越しいただき、たくさんのお客さんが太鼓を叩いて楽しんできました！皆様のシャボン玉ができました！皆様のご協力、ありがとうございました。

小原学園では、小原学級の授業の中で太鼓を学び、多くの利用者さんが太鼓を叩いて楽しんでいます。先日の小原ふれあいまつりをはじめ、中山小学校で行われたボランティアのつどいでも演奏させてもらいました。小学一年生の利用者さんから高校生の利用者さんまで、教えて合って太鼓を行っています。中には、笛やソロの曲など、大人顔負けに叩いている利用者さんも！昨年度から少しずつですが、太鼓演奏を披露する機会も増えてきています。これからも頑張るぞ！

太鼓、大好き！

副理事長 コラム

社会福祉法人 昭徳会

副理事長（法音寺・副山首） 鈴木正修

大病や臨死体験、又はそれに近いことを経験した人々は、生き方が全く変わると聞きます。それは、死と向かいあうことによって、生きることを真剣に考えるようになるからだそうです。

必ず訪れる「その日」を強く意識することにより、生かされていることに対する感謝の心が生まれ、家族をはじめとする自分をとりまく人々、健康、仕事、時間といったそれまで意識してこなかった大切なものの存在に気づき、生かされている間に、何をすべきかを深く考え、生きる目的を明確にして行動するようになります。

死を真剣に考えることは、死を全く意識して

いない人たちに、実は大変メリットがあるのです。人間の脳は「タイムリミット」が具体的にイメージできると、本気で働き出すという特性があります。仕事の期限や、試験の日程を思い出してもらえればわかると思います。



十一月六日、みんなが待ちに待った学園祭が行われました。

焼きうどんや五平餅など、おいしいものがいっぱい♪ また、この日のために練習した出し物を保護者の方に見ていただきました。今年のテーマは、「ありがとうございます・これからも」です。

おそろいのTシャツを着て、「ありがとう」の思いを伝えました。この日は一日、「ありがとう」でいっぱいになりました。



学園の利用者さんが日々健康で楽しく過ごしているのは様々なボランティアさんのご協力あってのことです。ありがとうございました。

Mフレンズの皆様

トヨタ自動車三好工場の皆様

マツヤ様・パネルの寄贈

玉越様・お菓子の寄贈

トヨタ自動車EX会堤支部様・除草作業

学園祭お手伝い



タップドンのマジック
ショーで懐も開け
できちゃった♪

お知らせ！

「平成二十一年度収支決算
状況」は、各施設のホームページに掲載しています。

高齢者グループホーム 小原安立

「初」の一泊旅行



ホテル前で記念撮影。

さつき通りで五平モチ作り



車はないけど五平モチ。

特別養護老人ホーム 小原安立

さつき通りでおやつの五平モチを作りました。不格好な五平

モチですが、利用者の方が喜んで食べる姿を見ることができました。今度は何を作ろうか、と考えています。五平モチを食べたTさんは「おいしいよ」と、Kさんは「また食べたいね」と言つて下さいました。



いただきます。

回想法の一環として、ご飯の一合の炊き方とお釜



炊とお釜です。

秋祭り

十月上旬、グループホーム一行は、ご家族にも参加していました。だき知多方面へ出かけました。当日は雨男も雨女もいなかつたのか、すばらしい晴天で、皆の親睦を深める良い機会になりました。半田の矢勝川堤では、咲き誇る約二百万本の彼岸花にまきました。鼻にツンとくる酢の香りでは、「うわあ！」と歓声をあげ、



大人気のチョコバナナ

花の里ハーツガーデンにも立寄り大満足でした。宿では知多半島の最先端から望む遙か太平洋を一望し、心身共にリフレッシュできました。普段の食事は長

時間かかるNさんが「うまいがうつとりし、博物館「酢の里」では、鼻にツンとくる酢の香りに「うわあ！」と歓声をあげ、

や。」とあつという間に完食しました。普段の食事は長時間かかるNさんはびっくりしました。じつに普段の食事は？たくさんのお手伝いをして下さったボランティアの皆さん、ありがとうございました。

で、大盛況のうちに終える事が出来ました。最後に家族の方の中よりお礼の言葉を頂き職員一同今後の励みとなりました。またお手伝いをして下さったボランティアの皆さん、ありがとうございました。

十一月十日、多数の利用者や家族参加のもと、秋祭りが盛大に行われました。屋台では、たこ焼きやチョコバナナ、お汁粉が好評で何回もお替わりをする利用者が続出し、お腹いっぱいになつた顔がとても満足そうでした。その後の玉入れゲームでも皆さんの真剣な表情が印象的

知的障害者援護施設 小原寮

ふれあい余暇外出

10月11日（月）『ふれあい余暇外出』に総勢25名（地域の方2名）で出かけました。中津川市ふれあい牧場・くだもの王国



山本農園へ行き、たくさんのかわいい動物と触れ合ったり、昼食にはみんなで焼肉を食べました。



帰りには、くだもの王国山本農園でリンゴ狩り！しかも食べ放題：みんなお腹がいっぱいかな：と思いました。が、リンゴはべつ腹☆いっぱい食べて、いっぱい動物と遊んでみんな楽しそうでした。来年はみんなでどこに行こうかな：☆

バレエ公演



きれいな衣装、華麗な踊りに利用者は釘付け。利用者の中には「私も踊りました。



踊ってしまう姿も見られました。

アーチャン

台袖で一緒に踊つてしまふ

ました。



アーチャンの皆様の慰問は、今年で4度目になります。毎年芸術の秋に来寮されるのを利用者は楽しみにしています。次回も素敵な踊りと交流を楽しみにしたいと思ひます。

音楽療法



アーチャンの皆様の慰問は、今年で4度目になります。毎年芸術の秋に来寮されるのを利用者は楽しみにしています。次回も素敵な踊りと交流を楽しみにしたいと思ひます。

ふれあいアート展 3人が入賞



作に励んでいきたいと思います。

小原寮からも16人の利用者が出品し、そのうちふたつの作品が「愛知県知的障害者福祉協会賞」「AIU保険会社中部営業本部長賞」を受賞しました。これからも、楽しく作品の制作を促しています。みんなは、月一回の音楽療法の日を楽しみにしています。

毎月第三日曜日の午後、36人の利用者が3グループに分かれ音楽療法を受けています。音楽療法士の先生は利用者個々が音を出しやすいように楽器を差し出したり、演奏したり、演奏しててくれます。

音楽療法が始まり6年が経ち利用者は曲に合わせて合奏できるようになりました。また、音楽だけではなく一人ずつ楽器を鳴らすことで順番を待つことを覚えた

9月28日から10月3日迄、名古屋市の電気文化会館5階の東ギャラリーで開催されました。「第3回ふれあいアート展」が、知的障がい児者の美術作品展